

# 壊職代行の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

## ■アンケート調査概要

調査目的	壊職代行の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	壊職代行を読んだことのある10代～40代の男女32名
調査期間	2025年4月5日～2025年4月8日 2025年4月25日～2025年4月26日 2025年5月30日 2025年6月27日 2025年7月25日 2025年8月29日 2025年10月31日 2025年12月26日 2026年1月14日 2026年1月30日 2026年2月27日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	<a href="https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kaisyokudaikou/">https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kaisyokudaikou/</a>

## ■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 壊職代行を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	2人
20代男性	2人
30代男性	23人
40代男性	1人
30代女性	3人
40代女性	1人

## Q2: 壊職代行の感想を教えてください。

### 1話感想

第1話から、ブラック企業での抑圧された職場環境がリアルに描かれ、主人公が人生に対する希望さえ失う姿が印象的でした。「壊職代行」という謎のサービスの登場は、ただの逃げ道ではなく、不条理な社会に対する強い反抗の象徴でもあります。復讐劇は爽快感が強めです。実際の労働問題に通じるテーマが多く、共感できるような内容でした。

ブラック企業の営業マンである鈴木が、理不尽なパワハラに遭いながらも必死で耐えてきたものの、限界に達した彼が退職の意思を伝えると3ヶ月の引き留めにあい、この期間さえ耐え抜けばと思っているところで、自宅に帰る暇もないくらい業務を充てがわれ、結果として母親を自殺未遂に追い込むほどのミスを引き起こしてしまうところに胸が締め付けられました。しかし、そこに現れたのがかつて電車で飛び込もうとしていたときに声を掛けてきた静香で、退職ではなく壊職代行だと言い張るところに、光が見えた気がしました。

壊職代行の1話、めっちゃハマったよ！静香の冷たい目つきとサクサク進む展開が最高。初めて依頼を受けた時のあの緊張感、なんかこっちまでドキドキしたわ。クソみたいな職場に一撃入れる感じ、めっちゃ気持ちいいね。キャラも立ってるし、特にあの気弱な依頼者の表情がリアルでさ、思わず応援したくなった。ただ、ちょっと説明足りないとこあったかな？でも初回としてはバッチリ引き込まれたよ。次見るの楽しみすぎる！

### 2話感想

1話では壊職代行についての説明パートが多かったのですが、この2話から本格的にストーリーが展開していくところにワクワクできました。ブラック企業を題材にしているからこそ、漫画とはいえど結構リアルで、他人事とは思えなかったです。主人公に酷い仕打ちをしてきた人たちがやられてしまう姿にはスカッとしますし、計画通りに物事が進んでいく感じがまさにプロフェッショナルでカッコいいです。

軽い気持ちで壊職代行に依頼をしてしまったことを後悔する鈴木に、静香と壊職代行員が聞かせたのは、シュレッダーに掛けてしまったはずの契約書がそもそも嘘で、社長や上司に騙されていたという証拠で、怒りが沸いた鈴木が改めて壊職を依頼するところにワクワクしました。最初のターゲットは三木で、着ていた洋服を汚されたものの、クリーニング代としてさりと大金を手にしたのを期に、ズブズブと壊職代行員の罠にハマリ、多額の資金を用意してまでセレブ婚を夢見るところに、笑いが止まりませんでした。

第2話はテンポが良く、鈴木絶望感と静香の冷静な対応が対照的で引き込まれる内容です。三木が罠にかかる様子は痛快で、スカッとできます。続きが気になる展開が魅力的です。またクライアントの背景が丁寧に描かれているので、感情移入して読み進めることができました。こういったタイプの漫画はあまり読んでいたことがなかったのですがハマリそうです。

### 3話感想

ブラック企業での過酷な労働環境と、それに耐える鈴木がリアルに描かれており、胸が痛みました。特に、退職を決意した後にさらに追い詰められる展開は、現代社会の闇が感じられ自分自身もブラック企業で働いていた経験があり(テレポ業務)退職する時かなり揉めたのでその様子と重なって読んでいて、辛かったです。

壊職代行の3話、めっちゃ良かったよ！静香がああクソ上司に一発かましてくれた瞬間、思わず「やったー！」って声出ちゃった。やっぱり彼女の冷静で大胆な行動が最高だよ。あの嫌みな部長の顔が歪むとこ、ほんとスカッとしたり、報復のタイミングが絶妙すぎる。今回はターゲットの過去もちょっと見えて、感情移入しちゃったよ。ただ、ラストの展開が少し急だったかな？もう少し余韻欲しかった気もするけど、それでも次が待ち遠しいね。静香のキャラがどんどん好きになるわ！

『壊職代行』の第3話は、すごく緊張感があって面白かったと思います。主人公が困難に直面するシーンはリアルで、彼の葛藤や選択がどうなるのか、つい続きが気になりました。代行業務の中での悩みとか、それに巻き込まれる人たちとの関係性も注目ポイントだったかな。あと、ストーリーに出てくる代行って設定がちょっと変わってて、逆に新鮮でワクワクしました。次回はどうなるんだろうって考えるだけで楽しみになります！

## 4話感想

パワハラをするワガママな男性社員がネットに晒されて、焦りまくっている姿を見てざまあみろと思いました。壊職代行はただ暴力的にこらしめるのではなく、社会的な制裁を加えるところが恐ろしいです。でも、制裁される側の人間は同情できないくらい悪い奴らなので、相変わらず読んでスカッとします。悪者たちがハマられたときの悔しそうな顔の描き方も、作者の絵の上手さが発揮されていて良かったです。

テンポよく物語が進んでいて、代行業の裏側や依頼人のリアルさが伝わってきて来ました。ラストにはちょっとした衝撃展開があって、主人公たちの過去に関わるような内容がチラッと見えてきて、「この先どうなるのかな？」とワクワクする展開に興味をそそられました。また、依頼内容によって迫られる選択が予測できないのも魅力の一つだと思います。

話がトントン拍子に進んでいくので、あっという間に読めました。スカッとした内容が多くて、嫌な気持ちになりにくいのもいいですね。4話の結末がなかなか予想できなくて、「そう来たか」という感じでした。まだまだ壊職が続くのももっとも徹底的に壊してほしいです。

## 5話感想

4巻で社会的な立場を失った中宮主任を、さらに物理的にも容赦なく痛めつける展開で、少々残酷にも感じましたが、これまで鈴木くんが受けた仕打ちを思えば胸がスッとしました。また、3巻で報復が完了したのかと思っていた三木さんの末路もしっかり描かれていた点が良かったと思います。間々田社長に対してはどんな方法をとるのかワクワクしてくる内容でした。

環境が変わってもまるで内面が変わらない中宮の姿が本当に印象深いですね。自分の不甲斐なさを晴らすために静香に手を出そうとする姿がある意味終わっています。でもその展開にしたのも静香の罠のようなものなので、どのような流れになるのか俄然目が離せません。復讐というテーマが作品全体に蔓延っているのでターゲットがドツボにハマっていく姿に言い知れない爽快感がありますね。

中宮の蹴られたときの顔が無茶苦茶ブサイクでスカッとしました。過酷な労働環境に移されましたが、正直もっと壊してほしいかったです。ただ次の間々田社長はもっと壊す発言をしていたので、どんな結末になるか楽しみです。

## 6話感想

6巻は特に顔がやばかったです。次のページに行くたびに社長のひどい顔が描かれていて、スッキリするような場面が多かったです。ただイライラしているだけでこれだけの表情が描けるとは。壊職させられたときにどんな顔になるのか今から楽しみです。

下剤に電車ってやり方がかなり古臭いっちゃ古臭いけど、だからこそ声が出るくらい笑えました！電車が駅について急いで駅に行こうとする間々田の電車を出ようとする姿が面白かったです。まるでジョジョのように躍動感あふれる動きでしたけど、漏らさないように抑えている感じがしてうまいなーと思いました。

シンプルな嫌がらせですが、なかなか他の復讐漫画にはないやり方で笑えました。社長も単純な性格をしているので、この復讐方法があっているということでしょうか。いちいち顔が面白いし、なかなか読み飽きなくて驚いてます。パクパク顔がいい味を出してますね。

## 7話感想

一度喜ばせる必要はないと思いましたが、間々田の顔が面白かったのでよしとしましょう。そしてまさかの社員総出で攻撃とはよい壊職でした。それにしても鼻汁王子のネーミングもひどい。

ざまあな展開でしたね。集団告訴されたときの間々田の表情が面白かった。目が光るとかどんな描写ですか。そのあとに真っ白に燃え尽きた間々田も見どころ。次どうなるのか早く読みたいです。

## 8話感想

とうとう最後の一人である間々田の壊職が終わりましたね。なかなか悲惨な最後であり、最後の3人目にふさわしい感じでした。次も別の社長がターゲットとなりますが、こちらは刀とか持ってるしもっとヤバそうです。

スカッとしたと思いきや、またもやヤバい人物の壊職が始まるようです。そして、鈴木が壊職代行のメンバーに加わり、どんな活躍してくれるのかが楽しみです。

## 9話感想

1巻にすごくいろんなことを盛り込んだという印象でした。成子が登場して、その成子の壊職が始まるまで描かれていたのは少し意外でした。ただ、そのテンポのよさのお陰で、サクッと飽きずに読めるんですよね。調子に乗った成子がどんな目にあうのが楽しみです。

鈴木が壊職代行の見習いになったことで、火室はこれまでのような優しさだけで接するのではなく、同じ仲間として厳しく接するようになります。脅すような感じのシーンもあるんですが、あれもすべて鈴木を思っていることなのでしょうね。壊職代行なんてちょっとのハマで人生が終わるような仕事でしょうから。

## 10話感想

学校全体を巻き込んだ体育祭ですが、絶対に子供の教育に悪いですよね。しかも、子供も笑顔である父や祖母に会いに行くのを見ると、子供もしっかり毒されていそうです。こんなの絶対子供も性格悪くなるでしょうし、一族全員壊職しないと、今後も被害者が増えそう。

個人的に、鬼塚の体を見たときの成子の顔芸が本当にツボです。あんな顔を大きなコマで見せられたらそりゃ笑いますよ。しかもホテルの名前が「HOTEL BBA」って書かれてるところも細かい。あれを2週間も相手しないといけないとか、鬼塚が一番大変ですね。

## 11話感想

成子の孫がずっと社長や成子たちに従順だったのが違和感だったんですけど、あえて従順になっていたとは。子供もバカじゃないですよね。母親を想ってずっと自分の気持ちを抑えていたんですね。成子たちの魔の手から離れて良かった。

これで成子の壊職が完遂されましたが、次は息子でしょうか。また一から壊職の流れが描かれるのも面倒ですし、息子はサクッと壊職されてほしいですね。社長はちょっと長くていいですが、このスピード感はなくさないでほしい。

## 12話感想

よくよく考えてみると、成子っていいキャラしてましたよね。浮き沈みが激しくて、喜んでいるときとそうでない時の落差が激しすぎます。鬼塚の最後のメッセージにも笑わせてもらいました。この後に成子がどんな扱いを受けているのかも見てみたい気はします。

これまでひどい扱いを受けていた鈴木ですが、壊職代行をし始めて、結構有能なのではと思いました。組織のサポートがあるとはいえ、きちんと自分の武器を理解しているところがいいですね。鈴木を見ていると、他にもいろんなことに特化した代行人がいるんだろうなと思います。

## 13話感想

これまでのひどすぎる過去を武器に変えるなんて、かなりいい展開ですね。鈴木は他の壊職の人に比べると、頼りない印象でしたから。この鈴木にしかできないやり方は非常に見応えがありました。

ここまでほとんど組織の人間は登場しませんでした。他にどんなメンバーが壊職代行にいるのかが気になりますね。もっと色んなキャラがでてきても面白そうです。鈴木もこの一件で成長しそうですし、社長の壊職も楽しみです。

**漫画全巻の部屋**

by (株)グリュックス